

## 誰もが利用しやすい路線バスの実現に向けた取組を進めます ～日本初となるフルフラットバスの導入など～

東京都交通局では、東京2020大会とその先を見据え、誰もが利用しやすい新たな路線バスのモデルを先導的に構築し、東京から全国へ発信していくため、下記の取組を進めます。

### 記

#### 1 日本初となるフルフラットバスの導入

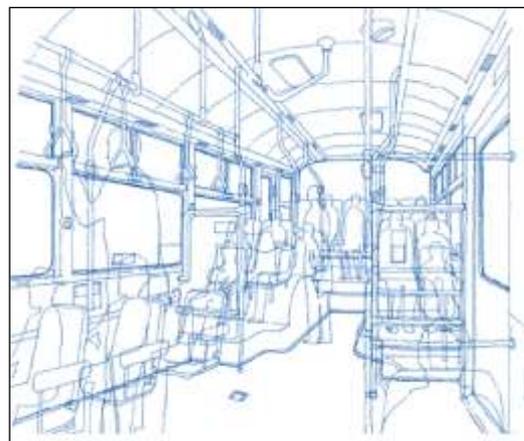
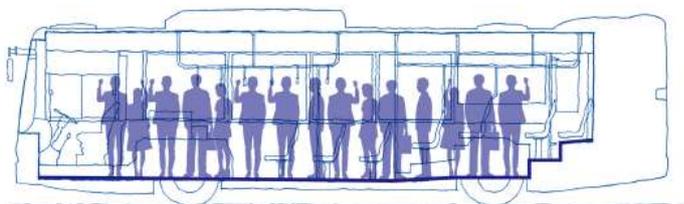
都営バスの全ての車両は、乗降口に段差のないノンステップ車両ですが、車内後方の通路には段差があります。

更なるバリアフリーを追求するため、この通路段差を解消したフルフラットバス\*を日本で初めて導入します。

これにより、高齢者をはじめ、誰もが車内後方まで移動しやすくなるとともに、前方での混雑が緩和され、快適通勤にも寄与することが期待されます。

このフルフラットバスは、平成30年内の運行開始を予定しています。

#### ■フルフラットバスイメージ図



※通路の段差解消に加え、傾斜をバリアフリー法及び関連条例で定める建築物の傾斜路の基準 1/20 (約 2.9 度) 以下に抑えた大型路線バス

#### 2 充実した情報案内を途切れることなく提供

初めてバスを利用する人でも迷わないよう、駅からバス車内まで連続した情報案内を多言語で提供します。

詳細は、別添リーフレットをご覧ください。

#### 「2020年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020年に向けた実行プラン」に係る事業です。

「ダイバーシティ 政策の柱6 誰もが優しさを感じられるまち」

お問い合わせ先

都営交通お客様センター

03-3816-5700(年中無休、9時から20時まで)